

1. 自己紹介

私は、「(公財) 志布志市農業公社」で施設ピーマンの研修生として2年目(最終年)となる塚田 光祐(つかだ こうすけ)です。出身は兵庫県で、自衛官として働いていましたが、令和6年6月に退職し家族とともに志布志市へ移住。同年の7月に研修生となりました。



塚田光祐さん 34 歳

2. 研修に参加した理由

私は、大学農学部で園芸関係について学んだことを将来活かしたいとの思いと、家族との時間をこれまで以上に大切にしたいとの思いから、検討した結果、研修制度が充実している同公社に応募しました。

3. 研修内容について

研修品目は、ビニールハウスを利用した冬春ピーマンで、期間は2年間。現在は2年目となり独立経営方式となるため、ピーマンの栽培管理に没頭する毎日です。今年は定植後も高温が続いており、病害虫の発生が多い状況。その対応に同期生や卒業して部会員となっている先輩の研修生などに気軽に相談できる環境が備わっており大変助かっています。



研修ハウスでの実地栽培

10月下旬から収穫が始まり、来年の5月末まで続きますが、最終的には、ピーマン部会の平均反収 14 t を目指したいと思っています。

4. 将来のビジョン

次期作からは、研修生を卒業し一経営者として営農していくことになります。就農時の栽培面積は 30 a を計画しており、夫婦で時間を大切にしながら頑張ります。最近では気候変動の影響等により災害のリスクが高まっているので、セーフティーネット等の対策には、是非、加入するつもりです。

5. これから就農を目指す人へのメッセージ

自然相手の職業だからこそ覚悟が大事ですが、農業に興味がある方は、積極的に挑戦してほしいと思います。なお、研修施設の選択については、支援内容を十分に検討したうえで関係機関等へ相談していただきたいです。

研修先：公益財団法人 志布志市農業公社 担当者 企画研修係長 有川

所在地及び連絡先 志布志市松山町泰野 379 電話：099-487-8239

e-mail: arikawa-nobuyuki@shibushi-apc.jp

<https://www.shibushi-apc.jp/>